

「ターボ機械の強度設計」

日本のターボ機械の性能と品質は世界トップの実力を誇っている。この技術力は高度な流体設計を核とする開発力や生産技術力ばかりでなく、信頼性を維持する上で不可欠な強度設計に大きく依存している。

しかし、高速小型化や可変速などの高性能化の要求が強まる中で、回転機械の損傷問題が発生している。損傷は流体加振力や腐食環境、ロータダイナミックス、締結要素に起因した疲労破壊が主な要因である。本講座では、ターボ機械の回転体だけでなく様々な機械構造物の強度設計に焦点を当て、事故解析を含めた構造解析（静的、動的）、CAE 技術、材料工学、材料力学、疲労強度評価の講座を開催し、ターボ機械技術者のレベルアップを図りたいと考えております。奮ってご参加ください。

- ・協 賛：(社) 日本機械学会、(社) 火力原子力発電技術協会、(社) 日本原子力学会、(社) 化学工学会、(社) 日本水道協会、(社) 日本プラントメンテナンス協会 (予定・順不同)

・日 時：2007年10月5日(金) 9:30～16:50 (←10月3日より変更)

・会 場：機械振興会館 6階 6-66号室
(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 TEL03-3434-8216)

・参加費：会員 35,000 円、非会員 40,000 円、学生 10,000 円

【プログラム】

時間	テーマ	内容	講師(敬称略)
9:30 ～10:40	事故例に基づく強度設計概論	外力による構造物の変形から発生する応力と材料強度との比較から構造物の安全性を評価する手法についての紹介する。また事故例についても概説する。	岐阜大学 服部 敏雄
10:50 ～11:50	構造解析(静的、動的)CAE技術	材料力学の公式と解法及び計算機による有限要素法などの解析手法による応力算出方法の説明と形状急変部の応力集中、き裂部の応力拡大係数の考え方を紹介する	
13:00 ～14:30	材料工学と強度評価	繰り返し荷重下の疲労き裂の発生・進展メカニズムと評価パラメータについて、材料の特性も含めて紹介する	
14:40 ～16:50	設計手法のノウハウ	具体的な設計事例を基に形状急変部の応力集中緩和法や緩み難いネジの締結方法などを通じて信頼性を向上させるノウハウを紹介する	

- ・定員：60名
- ・申込方法：E-mail または FAX で、①参加者名、②連絡先住所、電話番号、③社名(学校名)、所属、④会員/非会員の別 ⑤第76回セミナー を明記の上お申込ください。
- ・参加費は事前に、現金書留または銀行振込にてお支払いください。
振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金 932599 ターボ機械協会
- ・申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル
ターボ機械協会事務局 第76回セミナー受付係
(TEL:03-3944-8002, FAX:03-3944-6826, E-mail:turbo-so@pop01.odn.ne.jp)
- ・申込期限：定員になり次第締切ります。

なお、お申込み後のキャンセルはお断りしていますのでご注意ください。

ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。「本セミナーのターボ機械協会 CPD ポイントは中級 4.8 です。」